

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラスジュニア新大阪教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月15日		～ 2025年12月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	98	(回答者数) 74
○従業者評価実施期間	2025年11月15日		～ 2025年12月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者やお子様と共感的に関わりながら支援を行っている。	保護者同伴で来ていただく支援のため、常日頃お子様の様子を共有し、共感しあえる状況を作っている。	職員の専門性を高め、ごきょうだいも含めた子育ての相談を行うことで家族支援の向上を図ることが出来る。
2	保護者会等の保護者同士の交流が出来る機会を設けている。	回数は多くないものの定期的に保護者会等を行い、保護者同士の交流を深めていけるようにしている。	きょうだい向けのイベントを行うことが少ないため、今後検討をしていく。
3	保護者やお子様と定期的に面談を行っている。	希望に応じて面談を実施している。併せて意思決定支援のもと、お子様本人とも面談を行っている。	定期的な面談の充実を図ることで支援の幅を広げていき、より多くの指導員を行える体制を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や関わり(情報共有)、その他地域で他のお子様と活動する機会が少ない。	小学校を中心に連携を図っているが、一部の小学校に限られるため、多くのお子様の学校に対応が出来ていない。特に地域のお子様との活動については活動の機会が少ない。	支援の向上のために連携を行う範囲を広めていく。
2	お子様の特性に合わせた専門性が低い。	お子様の事を理解しているが、特性に応じた専門性についてはまだ十分でない部分が見られる。	専門性を高め、お子様一人ひとりの特性に応じて支援を行っていけるように研修等を実施していく。
3	お子様の活動等のスペースが十分に確保されていない。	支援の幅を広げる中で、沢山の支援の方向性を検討してきた結果、活動の範囲が狭くなっている。	怪我等の状況が起こらないよう、十分に環境に配慮し、職員間で連携を行えるようにする。